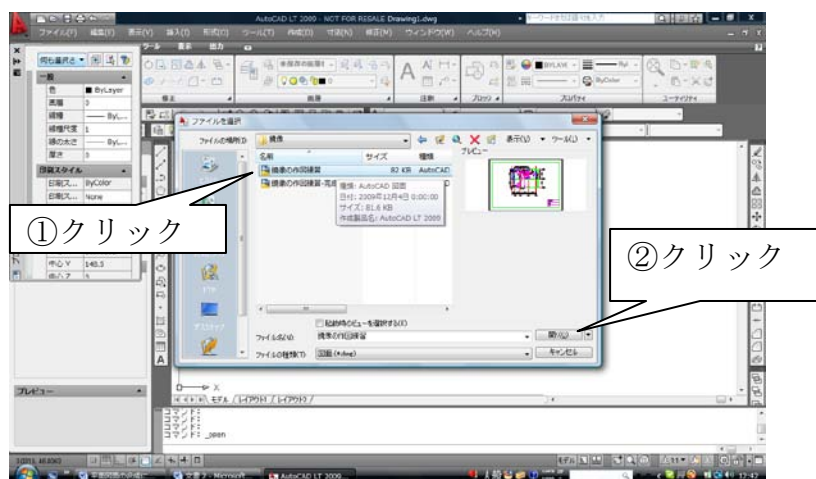
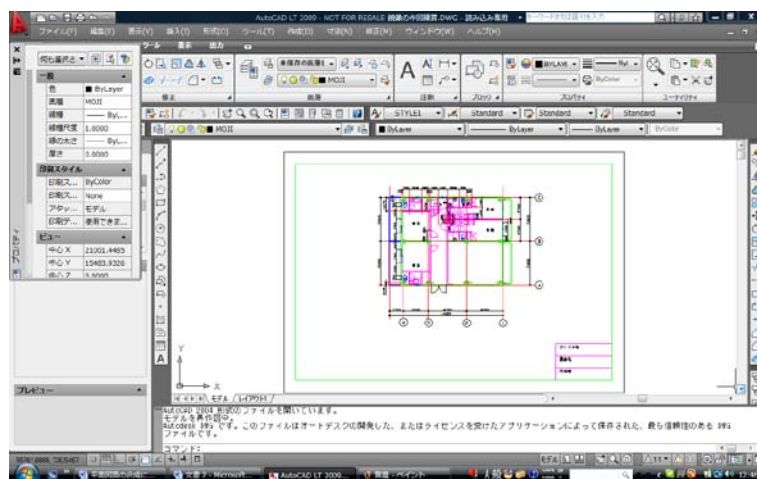


## 鏡像の作成に関する練習問題

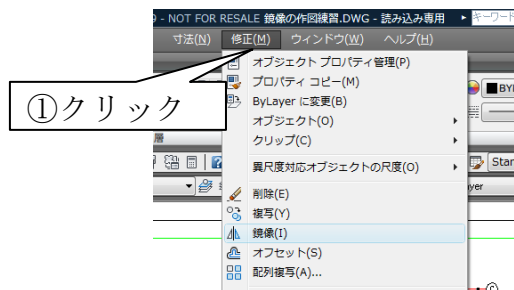
手順①、「ファイル」から「開く」を選択します。



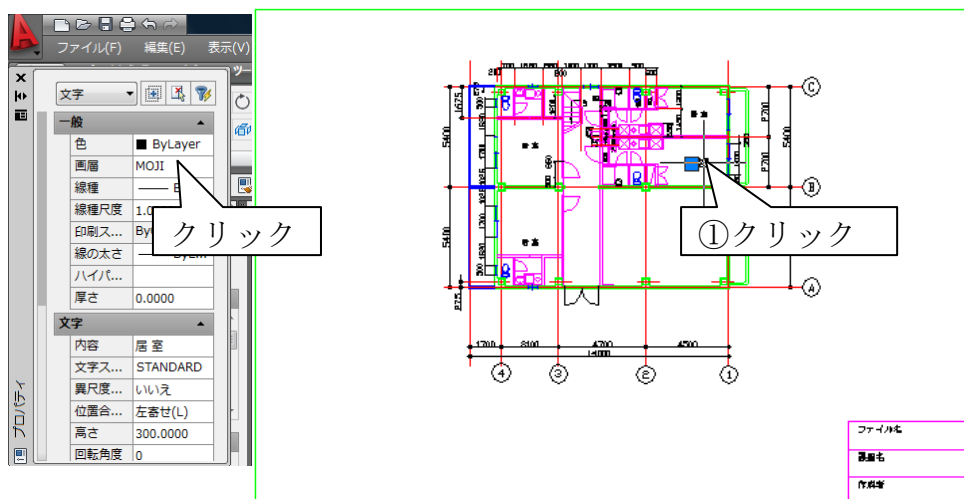
手順②、CRT 画面にデータを表示します。



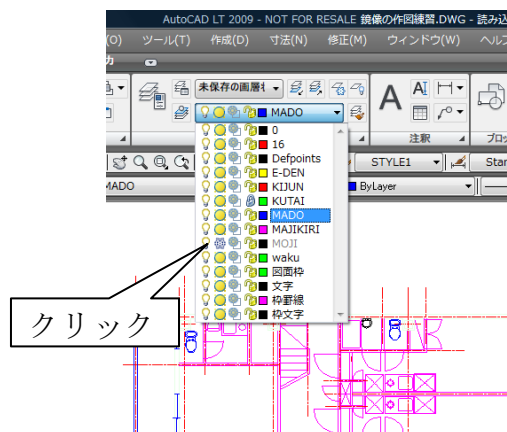
手順③ 「修正」メニューの「鏡像」を開きます。



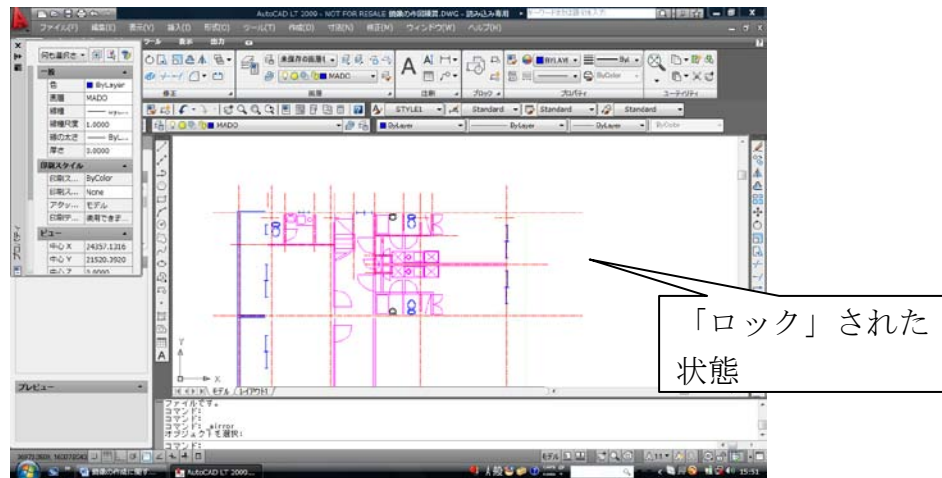
手順④ 文字列のオブジェクトを選択します。  
「画層」名を調べます。



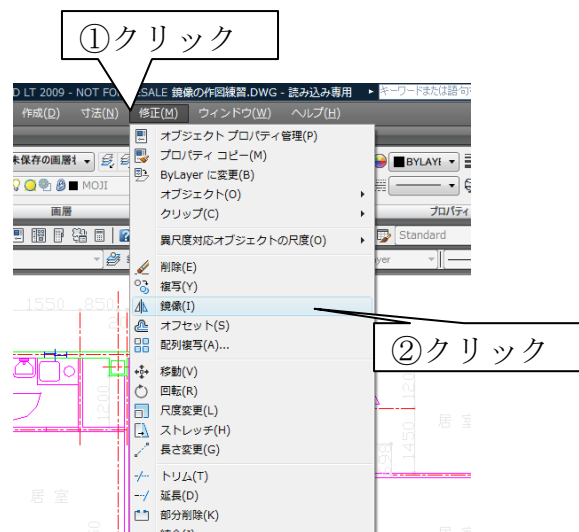
手順⑤ 文字列の「画層」をロックします。



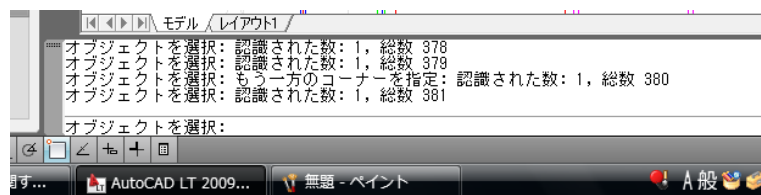
手順⑥ 文字列の「画層」がロックし薄く表示します。



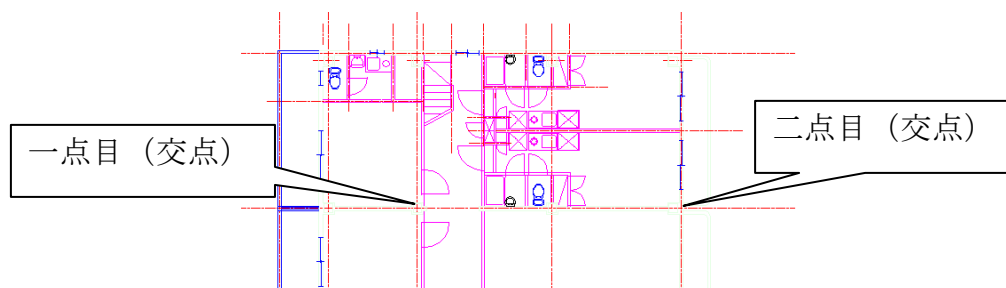
手順⑦ 「修正」メニューの「鏡像」を選択します。



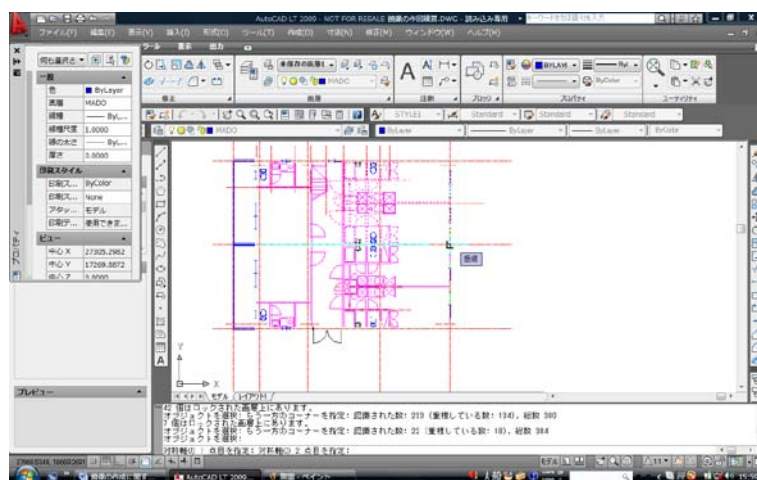
手順⑧ コマンドラインに選択されたオブジェクトの数が表記します。



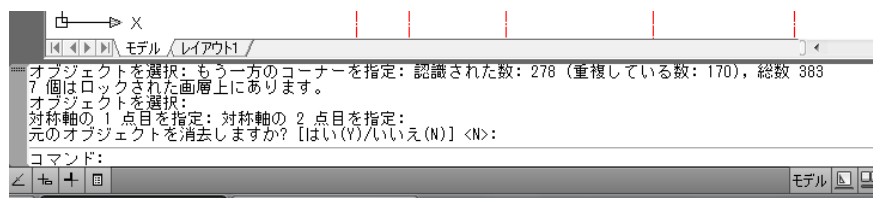
手順⑨ オブジェクトを窓選択後、「基点」を選択します。



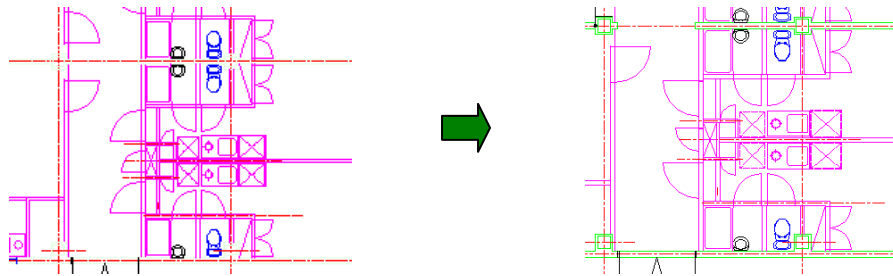
手順⑩ 「鏡像」を実行します。



手順⑪ コマンドラインを参照。

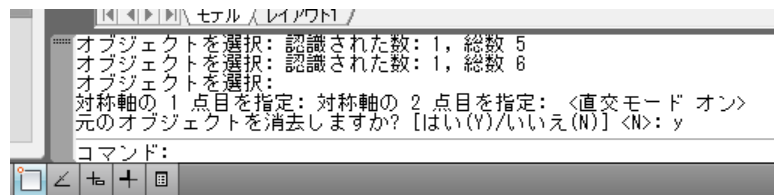


## 手順⑫ 扉の方向変更



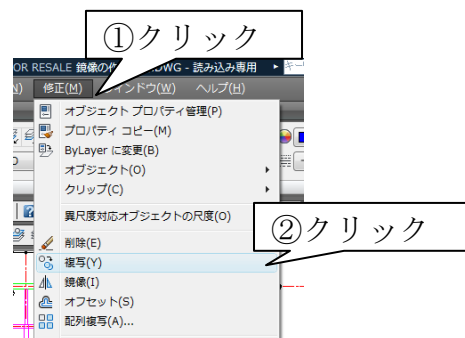
扉の方向を変える操作方法も手順にいました。  
練習してください。

## 手順⑬ コマンドライン参照。

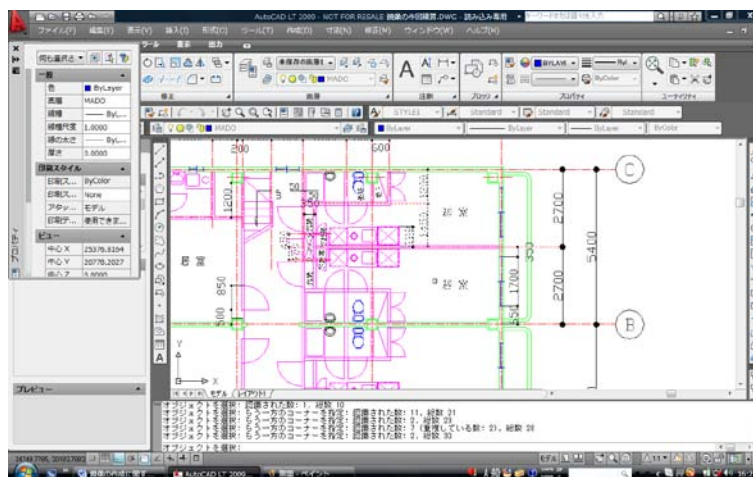


## ● 文字の記入方法

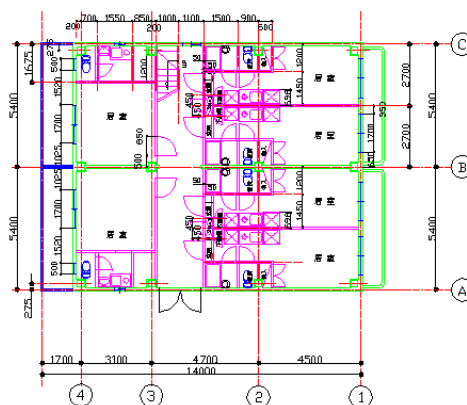
手順① 「修正」メニューの「複写」を選択します。



手順② 文字列を選択して「複写」します。



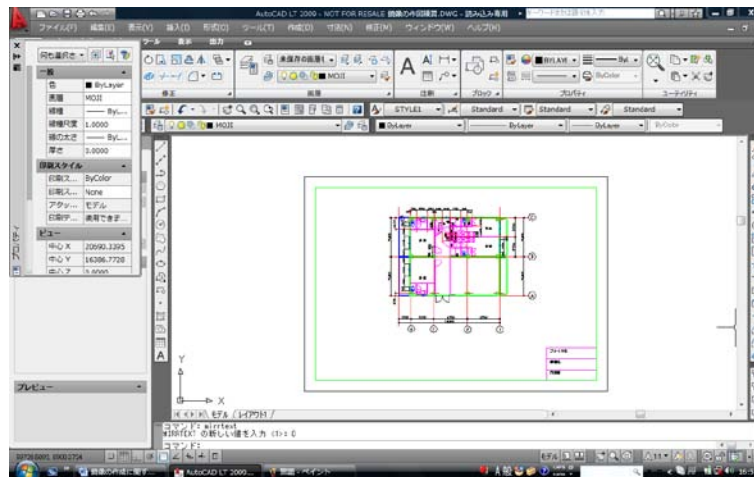
手順③ 文字列の配置が、完了しました。



② 文字が反転しないように設定する。

手順① 図面を開き、コマンドラインに「mirrtext」と入力します。

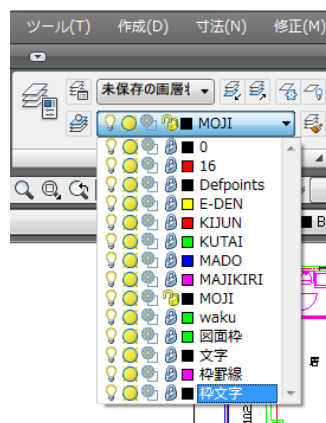
「半角英数字」で、文字列を入力してください。



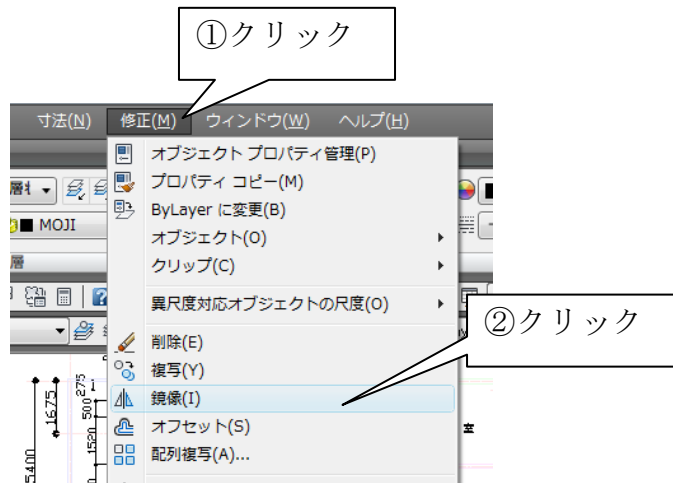
手順② コマンドラインを参照。



手順③ 文字画層以外の画層名を「ロック」します。



手順④ 「修正」メニューの「鏡像」を選択します。



手順⑤ 鏡像を実行後、「ロック」した画層を解除します。

